

2009年9月10日

チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド

投資実行のお知らせ

クラウドコンピューティングを活用した地域活性化支援

「株式会社イーダブリュエムジャパン」

「株式会社イーダブリュエムファクトリー」に投資実行

株式会社ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡県 代表取締役 森 大介）は、当社が運営を行い、株式会社西日本シティ銀行、株式会社九電工、独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）が出資をしております「チャレンジ九州・中小企業がんばれ投資事業有限責任組合」（略称：チャレンジ九州・中小企業がんばれファンド）を通じ、株式会社イーダブリュエムジャパン（本社：東京都 代表取締役 友納 健一郎 以下、「EWM ジャパン」）に対して15百万円、100%子会社である株式会社イーダブリュエムファクトリー（本社：佐賀県 代表取締役 友納 健一郎 以下、「EWM ファクトリー」）に対して10百万円、2社合計で25百万円の投資を実行致しました。本件投資により、同ファンドの投資先数は10社となります。



EWM ジャパンは、首都圏の大企業、公共機関向けウェブサイト、ウェブアプリケーションの開発・運用アウトソーシング事業を展開するITベンチャー企業であります。日本IBM株式会社でWEBソリューションの先端部署にて活躍した友納氏が独立により設立した企業であり、小規模ながら業界大手と引けを取らない提案力・技術力を有した企業であります。

（手がけた企業のウェブサイトは「第1回企業ウェブ・グランプリ」のベストグランプリを獲得するなど、多数の実績を有しております。）

ビジネスモデルの特徴として、東京都の企業でありながら、その業務の大半を友納氏の出身地である佐賀県に本社を置く子会社（EWM ファクトリー）にて遂行するという地方経済活性化の新しいビジネスモデルを展開している点が挙げられます。これによりローコストでハイクオリティのサービス提供を実現しており、クライアントからも高い評価を得ると同時に、地元佐賀県における雇用創出にも貢献しております。

EWM ジャパンおよびEWM ファクトリーは、今回の投資を受け、新規事業の取り組みをスタートさせております。その一つとして、全く新しいコンピューターの利用形態として近時注目を集めているクラウドコンピューティングを地域企業が主体となって構築・共同利用する「地域クラウド構想」を地方自治体等に対して提唱中であります。

これが実現すれば地域の中小企業が多額の投資を行わずして IT 環境の整備（サーバー、ソフトウェア等）を行うことが可能となり、生産性向上・販売力強化・業務効率化に繋がることが期待されております。

（※2009年9月10日付にて、ネットワンシステムズ株式会社（東証一部上場）および、ITベンチャー企業8社が参画しクラウドコンピューティングの先進的取組の推進を目的とした「クラウド・ビジネス・アライアンス」を組織することが発表され、EWM ジャパンはその幹事企業として同業務の推進を図っていくこととしております。）

当社といたしましては、EWM ジャパンおよび EWM ファクトリーの成長を積極的に支援することで今まで遅れていた中小企業の IT 化が推進されることが期待され、その結果として、当ファンドの設立趣旨の一つである「地域経済の活性化」に繋がるものと考え、投資を決定いたしました。

【投資先企業（EWM ジャパン/EWM ファクトリー）について】

会社名	株式会社イーダブリュエムジャパン	株式会社イーダブリュエムファクトリー
所在地	東京都中央区東日本橋3丁目3番17号	佐賀県佐賀市天神3丁目15番1号
代表者	友納 健一郎	友納 健一郎
事業内容	e ビジネスに関わる各種コンサルティング業務 e ビジネス・システム構築 e ビジネス・アウトソーシングサービス	e ビジネス・ファクトリーサービス e ビジネス・アウトソーシング・サービス 地域 e ビジネス支援
資本金	20 百万円	10 百万円
URL	http://www.ewmjapan.com	http://www.ewmfactory.jp/

【友納 健一郎（ともものう けんいちろう）氏 経歴詳細】

- ・ 1964 年佐賀県佐賀市生まれ
- ・ 1987 年中央大学卒業後、日本 I B M へ入社。
- ・ 1994 年発足の長野冬季五輪（98 年）プロジェクトチーム入り。まだ一部でしか利用されていなかったインターネットに着目し、五輪システムでの活用を提唱。様々な活動とその功績が称えられ、1995 年、米国 I B M より、チェアマンズアワードを日本からただ一人受賞。
- ・ 1999 年社内に専任組織の E W M（エンタープライズ・ウェブ・マネジメント）を立ち上げ、日本 I B M 全体のウェブ総括責任者に就任。I B M の E W M は企業ウェブサイトの統治、運営のモデル・ケースとなり、現在においても各企業よりベンチ・マーキングの対象とされている。
- ・ 2000 年ヘッドハンティングにより U S のトップ・ウェブインテグレーター i X L の日本法人、i X L ジャパンの副社長に就任。
- ・ i X L ジャパンの日本撤退に伴い 2001 年 E W M ジャパンを設立。
- ・ 2006 年佐賀県の誘致施策に応じ、佐賀市と進出協定を締結。故郷の佐賀市に 100% 子会社、E W M ファクトリーを設立。 現在に至る。

【代表的な実績例】

(東京都交通局)

サポート範囲：再構築のコンサルティングから実装までの全般及び運用

サイトの規模：約 2,000 ページ。

特徴：アクセシビリティに配慮した文字拡大縮小機能と CMS 化対応。緊急時対応機能など。

東京都庁での CMS 活用のベストプラクティスとして都庁内で参照されている。

(万有製薬) **※第1回企業ウェブ・グランプリにおいて、ベストグランプリ受賞**

サポート範囲：再構築のコンサルティングから実装までの全般及び運用

サイトの規模：約 2,500 ページ

特徴：大規模 CMS 化対応の事例。業界誌等で成功事例として掲載

【「チャレンジ九州・中小企業がんばれ投資事業有限責任組合」概要】

ファンド総額	10億円程度
ファンド設立形態	投資事業有限責任組合
出資者	<ul style="list-style-type: none">・ 中小企業基盤整備機構 http://www.smrj.go.jp・ 西日本チャレンジ投資事業有限責任組合2号(※)・ 株式会社 ドーガン・インベストメンツ http://www.dogan.jp/ (※)「西日本チャレンジ投資事業有限責任組合2号」の出資者 <ul style="list-style-type: none">・ 株式会社九電工 http://www.kyudenko.co.jp・ 西日本シティ銀行 http://www.ncbank.co.jp/index.html・ 株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング http://www.johoza.co.jp/
投資対象	主な拠点が九州圏内(九州各県・山口県・沖縄県)にあり、優れたアイデアや技術・ノウハウ・ビジョンをもって新商品の開発、新事業展開にチャレンジする中小企業(業種・業歴不問)
主な投資形態	<ul style="list-style-type: none">・ 株式(普通株・優先株)、新株予約権付社債の取得・ 融資、新株予約権付融資
組合の存続期間	約7年(但し、2年を限度に延長可)

※「がんばれ!中小企業ファンド」出資事業は、平成16年度から中小企業庁にて、新たに実施された中小企業支援施策であり、同庁が所轄する(独)中小企業基盤整備機構が実施機関として、ファンド総額の1/2を上限に出資を行い、目利き能力や販売ネットワークを有する民間パートナーとともに投資ファンドを組成し、投資先の経営実態に即した資金供給と踏み込んだ経営支援により、中小企業の新事業展開・第二創業へのチャレンジを積極的に支援するためのものです。

・この件に関するお問い合わせ

(株)ドーガン・インベストメンツ <http://www.dogan.jp>

〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目4番22号

TEL: 092-739-2311 (担当: 渡辺) FAX: 092-739-2317 E-mail: watanabe@dogan.jp